



一般社団法人

持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）

令和7（2025）年度（第16期） ESD21会員総会

**令和7年6月10日（火） 13:30～14:30
於：ウイנקあいち1003会議室&「ZOOM」会議**



ESD21 令和7年度 会員総会

令和7年6月10日(火) 会場：ウインクあいち1003会議室/オンライン
のハイブリッド形式

●13:30~14:30

Web会議モデレーター 理事 吉田信人

開会宣言・定数確認

司会 事務局長・理事 石村正雄

1. 議長挨拶
2. 第1号報告 令和6年度事業報告の件
3. 第2号報告 令和6年度会計報告の件
4. 第3号報告 令和6年度監査報告の件
5. 第1号議案 令和7年度計画案の件
6. 第2号議案 役員の改選の件
7. 第3号議案 定款の一部変更案の件
8. 閉会宣言（議長）

代表理事	黒岩 恵
顧問理事	鈴木明夫
理事	石村正雄
監事	山田眞佐代
理事	石村正雄
代表理事	黒岩 恵
理事	石村正雄



・ 定数確認 ESD21の会員数

※ 令和7年3月31日現在

個人会員： 63名 法人A会員：12社 法人B会員：5社
(1万円) (1口3万円) (1口10万円)

議決権 会員	R6.3.31		<R6年度>		増減		R7.3.31	
			入会数	退会数				
個人会員	6 5		5	△ 7	△ 2		6 3	
法人 A 会員	1 3	18	1	△ 3	△ 2	△ 2	1 1	16
法人 B 会員	5		0	0	0		5	
計	8 3		6	△ 8	△ 4		7 9	

◎ 定数確認（本日の参加）

参加者 38件 + 議決権委任 27件 = 65件

過半数

>





第一号報告

令和6年度事業報告

顧問理事 鈴木 明夫

令和6年度企画研究会の発足と活動状況

●目的：

理事の若返りと活性化及び繰越留保金の効果的運用によりESD21の趣旨に合ったイベントを企画開催し、会員維持増加を図る

●企画研究会構成メンバー： 全理事・監事＋推薦する関係者を都度招待

●新たな事業やイベント展開具体策：

- ・DX加速化に向けた関係団体連携
- ・DX実現の技術についての勉強会とDX認定工場見学
- ・事例研究、AIの進化、サイバーセキュリティ、人材育成等
- ・その他時宜を得た話題性あるイベント開催

●講演会場：東桜会館（90名）＋ Zoom（状況に応じ）

講演会後の懇親会を立食40名で開催、講師はご招待

●活動結果：

- | | | |
|---|-----------|-------|
| ①企画研究会開催 | 毎月（除く12月） | 11回実施 |
| ②会員総会＆特別企画事業開催 | | 4回実施 |
| ③特別テーマ「ICTを賢者に学ぶ」シリーズ開催 | | 2回実施 |
| 東海地区大学教授（特に名誉教授）に名誉会員（応援団）
称号で講演や推薦願う若手有望者と共に当地域を盛り上げた | | |
| ④テーマ事業別イベント開催 | | |
| DX啓発活動に重点 | | 5回実施 |

会員総会、特別企画事業（1）

●令和6年度会員総会＜5/14、参加62名（議決権委任含）＞

- ・令和5年度活動報告・令和6年度活動計画
- ・令和5年度会計報告・令和6年度予算計画・理事・監事の新体制

[令和6\(2024\)年度ESD21会員総会報告資料](#)

●同日特別講演会開催 設立15周年記念に相應しい講演会であった。

1）ESD21法人会員経営者講演－ESD21設立経緯や裏話

- | | | |
|-------------------|------|--------|
| ・萩原電気ホールディングス株式会社 | 名誉会長 | 萩原義昭 様 |
| ・株式会社古川電機製作所 | 社長 | 古川忠始 様 |

2）「中堅・中小企業のDX推進支援について」

経済産業省人材育成推進室長・デジタル高度化推進室長 河崎幸徳 様



講演資料：<https://www.esd21.jp/news/2024/05/20240514soukai.html>

特別企画事業（２）

「ESD21特別企画事業」講演会 モノづくりにおける大切なこと
～未来の日本を支えるのはやっぱり製造業～

担当理事：大鹿理事、吉田理事 参加者数 50名

2024年10月8日（火）14:00～17:10 東桜会館
「設計力とは、やりきる力」寺倉修氏 (株)ワールドテック 代表取締役
「ものづくりと生産技術」都築 正世氏 生産技術研究所 TSUZUKIテクノリサーチ代表
「脱炭素時代と製造業」高橋和彦氏 脱炭素産学協創コンサルティング 代表

製造業に不可欠なテーマを軸に、“モノづくりに本当に必要な力”について3名の講師に熱く語って頂きました。
参加者との現場の課題や未来への展望について深い議論が交わされるなど、実りあるイベントとなりました。



講演会終了後、場所を第二富士ホテルに移しての懇親会では35名以上の参加者と講師の3名を囲んで時間を忘れて未来の日本について語りあうこともできました
※講師（前列中央）と懇親会参加者の記念写真



講演資料：

<https://www.esd21.jp/news/2024/10/esd2120241008.html>



特別企画事業（3）

ESD21「会員例会」 & 特別講演会「ICTを賢者に学ぶ」－1回目

担当理事：黒岩代表理事

参加者数：50名

2024年11月14日(木) 13:30～17:15 東桜会館

コロナ明け後の「会員例会」再スタートにあたり、8名の会員講師講演と、新規企画として東海地区大学の名誉教授を講師に招聘した特別講演会「ICTを賢者に学ぶ」を今後継続的に開催予定。「会員例会」では会員間の情報情報共有の促進。新規企画ではICT/DXを楽しい雰囲気の中で学んで頂いた。



特別講演会「ICTを賢者に学ぶ」ICT関連の名誉教授を順次招聘予定
第1回の講師はICT分野で東海地区の重鎮、**稲垣康善名古屋大学名誉教授**

講演会資料<https://www.esd21.jp/news/2024/11/2024esd21ict.html>

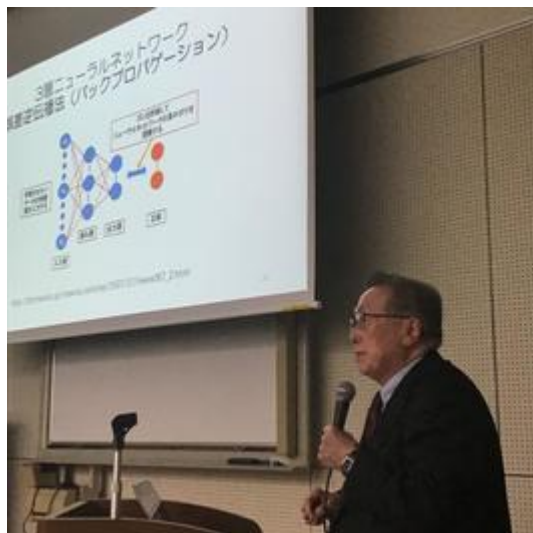
特別企画事業（４）

ESD21 令和7年新春特別講演会「ICTを賢者に学ぶ」－2回目
2025年2月10日(月)

担当理事：鈴木常彦理事 参加者：60名

第2弾として名古屋工業大学名誉教授・岩田彰氏を迎え、ニューラルネットワークからディープラーニング、そして、生成AI（Chat GPT）が生まれたその基盤技術であるニューラルネットワークの歴史と進化についてご講演頂きました。

また、前段で司会のESD21理事・中京大学教授の鈴木常彦氏のライフワークで日本政府各省庁のドメイン健全性調査で複数省庁が乗っ取られておりそれを保護し、総務省が謝罪に至った経緯を紹介され、会場は大いに盛り上がりました。



講演資料：<https://www.esd21.jp/news/2025/02/2025esd21ict2.html.html>

テーマ事業 (1)TPS/Lean事業ー 1

一般社団法人SCCC協議会のビジョンと最近の活動状況



速度生産性＝買掛金回転日数＋仕掛在庫回転日数＋売掛金回転日数
＝資金循環速度(SCCC)＝モノとカネのリードタイム

(Supply Chain Cash Conversion Cycle)

SCCC協議会とは

- ◆ 正式名称：一般社団法人 SCCC・リアルタイム経営推進協議会
- ◆ 設立背景：ESD21 [わくわくJIT研究会]を母体として2020年に発足
- ◆ 目的：経営の流れ創り（物流・金流・商流）のリアルタイム化を目指す。
- ◆ ホームページ：<http://honsharyoku.html.xdomain.jp/index.html>

理念とビジョン

SCCCは「失われた30年」から最善の“起点”となる！！

株主資本主義（株主よし）から「三方（売手、買手、世間よし）経営」へ、
「利己より利他」へ価値観を転換して持続可能な社会を実現

- ◆ 流れ創りDX・AIで「カネの流れ10倍速」に貢献
- ◆ ポスト・コロナのサプライチェーン回復には、モノ、カネ、情報の「流れ速度生産性」志向の現場をサポートする「行政力」「経営力」「本社力」を磨く。

活動の狙い：「資金循環を良くして生産性向上に再投資する仕組み」づくり
➡ 企業収益↑ 個人消費↑ → GDP/人増加（2024年世界38位）

活動① 国際標準化： 貿易円滑化と電子ビジネスの推進

- ◆ 国連センタCEFACT日本委員会の有識者委員に理事長・兼子邦彦氏就任

活動② DXの推進 中小企業のデジタル化支援

- ◆ QRコード活用による手間解消・資金流動性向上

- ◆ リアルタイム経営を実現するためのデジタルツール導入促進

TPSアジャイルプラクティス研究会 (ESD21)でSCCC協議会が所有する特許の有効活用とUSP研「ユニケージ」との融合による全社最適スケルトンパッケージ開発中

活動③ 業界共通プラットフォーム

活動④ SCCC協、産官学連携 JIT経営本社力養成スクール

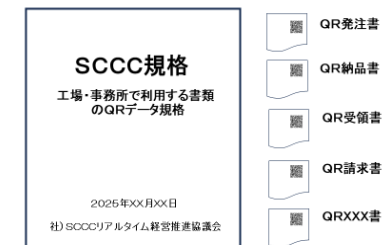
- ◆ 令和6年度第2回例会 産官学連携 JIT経営本社力養成スクール
2024年10月9日 名城大学
- ◆ 令和6年度第3回例会 SCCC・リアルタイム経営推進協議会
2025年1月21日 名城大学
- ◆ 令和7年度 第1回例会 産官学連携 JIT経営本社力養成スクール
2025年4月22日 名城大学



中部地区モデルの構築

製造業の「SCCC規格（工場・事務所で利用する書類のQRデータ規格）」を中部地区で先行して作成する。

その過程で政府筋他諸団体とも連携しながら、EDI化にはすぐ手が出せない小規模企業のQR化と資金繰り改善の成功例づくりに貢献するという方針転換。（2024）



テーマ事業 (1)TPS/Lean事業 2

◎TPSアジャイルプラクティス研究会（24年6月 旧わくわくJIT研を統合）

SCCC協議会が所有する特許の有効活用とUSP研究所“ユニケージとの融合による全社最適スケルトンパッケージ開発 目的：中小製造業のDX推進促進支援

25年5月に構想案がまとめ、実証を兼ねてUSP研究所がビジネス展開を開始予定。

U-FACTORY 生産管理システム

TPSアジャイル開発とは

ウォーターフォールの課題解決へ

アジャイル開発は、ウォーターフォール型ソフトウェア開発の課題解決のため2001年に米国の開発手法（XP、スクラム、リーンなど）を提唱していた実務者たちが作った「価値観と原則の集合体」です。

TPSの考え方をシステム開発に活用

TPSアジャイル開発は、TPSは日本で生まれ、Leanとして世界に広まった考え方をシステム開発に活用し、ムダの排除と顧客への柔軟な価値提供を目指したものです。米国のGAFAなど企業の新規事業開発に広く使われています。

U-FACTORYの誕生

USP研究所ではこの「TPSアジャイル開発を具現化した技術と開発手法の“ユニケージ”」をベースにDX化推進に最適ツールとしてU-FACTORYを新サービスとして発表しました。

TPS/Lean視点	アジャイル的視点	U-FACTORY
ジャスト・イン・タイム	Most Valuable Product、イテレーション開発	最小限の機能を逐次リリース
カイゼン（継続的改善）	レトロスペクティブ（ふりかえり）	開発サイクル毎にプロセス改善
ムダの排除	不要な機能・作業を排除	価値のある機能・作業だけに資源集中
現地現物	チームの自律的意思決定	チームで課題発見・対策
異常即時対応・自動化	CI/CD、自動テスト	異常を即座に検出・修正・対応
フローの最適化	仕掛かり作業排除・ボトルネック解消	進行状況可視化、ボトルネック解消

U-FACTORY 生産管理モジュール

DX（カイゼン）にあわせて変化するパッケージ

U-FACTORYは、現場の見える化から生産プロセスの改善に至るまで、部品を柔軟に組み合わせることで無駄なシステム投資をせずにDXを長期に渡りデジタルでサポートします。



製造業の基幹パッケージ U-FACTORY標準機能

U-FACTORYは、疎結合で組み立てる機能モジュールの集まりです。

生産管理モジュール

生産管理、販売管理、購買管理を装備

販売管理

見積

受注

出荷

売上

請求

生産管理

需要予測

見込生産

受注生産

生産計画

製造

部品構成 BOM

手配管理

警番管理

金型管理

在庫管理

購買管理

買掛・債務

発注

入荷

仕入

支払

セキュリティモジュール

サプライチェーン向けセキュリティ基盤を標準装備

認証・認可

アクセス権管理

通信暗号化

保存データ暗号化

脆弱性対策

ネットワーク防御

端末侵害対策

内部不正対策

障害対応設計

運用監視

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

情報漏洩防止

ゼロトラスト対応

SC侵入

改竄検知防止

</

テーマ事業(2) DX関連事業 1

「ESD21 DX関連事業」DX認定会社への工場見学会

2024年11月8日（金）

担当理事：石村正雄

参加者：12名

工場見学先：株式会社テルミック 常滑工場・常滑オフィス



DXにより新ビジネスモデルを構築しV字回復を実現し、2024年に過去最高売上を達成。若手や女性の意見を取り入れた「見える化」で人材育成とモチベーション向上にも成功。年間見学者数約2700社で多くは企業経営者であり、「紙ゼロ・残業ゼロ・ルーティンゼロ」や、若手・女性社員が活躍する職場環境、情報の「見える化」などに関心

報告資料：<https://www.esd21.jp/news/2024/11/esd21-20241108.html>

テーマ事業(2) DX関連事業 2

伴走支援研究会報告会

担当理事：吉田信人 参加者数：50 名

「ESD21 DX関連事業」予測できないVUCAの時代のDX経営戦略をどうするか
～知的資産経営(手法)のDX経営戦略への適用報告会

2024年11月27日(水) 14:00～17:00 東桜会館

1. 基調講演：持ち味を活かしましょう ～知的資産経営のすすめ～
(大阪府中小企業診断協会 知的資産経営研究会代表 有限会社ツトム経営研究所所長 森下勉 氏)
2. 知的資産経営のDX経営戦略策定への適用
(ESD21理事 伴走支援研究会リーダー ちかと経営研究所所長 吉田信人 氏)
3. 伴走支援共同研究成果報告
(ESD21伴走支援研究会参加メンバー JOB創造研究所所長 林 祐二 氏)
(株式会社興和工業所 土木建材部 業務課 課長 田中 孝行 氏)



田中氏の感想 ・ 過去には自社の強みや課題を深く分析する機会がなかったが、DX導入を通じて単なるデジタル化ではなく、得られたデータや知見を経営戦略に活用する重要性を、今回の伴走支援・共同研究を通じて実感した。

講演資料：<https://www.esd21.jp/news/2024/11/27-vucadx.html>

テーマ事業(2) DX関連事業 3

先進的なICT関連イベント企画として定評ある主催者の要請により「製造業DX World Conference」の一部セッションにESD21として開催。

主催：(株) [ナノオプト・メディア](#)

担当：黒岩代表理事
参加者数：20名

「種の起源」のダーウインの言葉「最も強いものが生き残る訳でなく、最も賢いものが生き残る訳でもない。唯一、生き残るのは最も素早く変化に対応できるものである」を引用し、社長自らビジョンを持ってDX推進をアピール！



◆登壇者

○モデレータ：鈴木明夫（ESD21顧問・理事、豊田通商OB） [資料.pdf](#)

○パネリスト：古畑慶次（ESD21理事、デンソーOB） [資料.pdf](#)

○パネリスト：吉田信人（ESD21理事、ブラザー工業OB） [資料.pdf](#)

○パネリスト：松田信之（情報サービス産業協会：JISA) 参事、中電OB） [資料.pdf](#)



鈴木 明夫



松田 信之



吉田 信人



古畑 慶次

テーマ事業（3）国際事業

ESD21国際事業「混迷の国際情報共有と交流会」

2025年3月24日(月)

担当理事：鈴木明夫、佐土井有里 参加者数：50名



最近、海外留学を希望する学生が減少しており、日本の将来を懸念する声もあります。単なる語学習得にとどまらず、異なる価値観を尊重し受け入れる姿勢を持ち、日本の文化や精神を大切にできる国際感覚を育てることが重要です。これはAIによる翻訳では代替できず、教育や経済面でのさらなる支援が求められます。

「海外事情に精通した方々から多くのリアルな海外の情報を聞くことができ、日本の国際的な立場や混迷する国々の情勢について知る機会となり、大変有意義な時間だった」と大好評であった。

講演資料：

講演資料：<https://www.esd21.jp/news/2025/03/24.html>



第2号報告

令和6年度会計報告

（貸借対照表及び損益計算書）

事務局長 理事 石村正雄

貸借対照表

一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会

令和 7年 3月31日現在 (単位:円)

資産の部

【流動資産】

現金及び預金	1,986,114	
流動資産合計		1,986,114
資産の部合計		1,986,114

負債の部

【流動負債】

流動負債合計		0
負債の部合計		0

純資産の部

繰越利益剰余金	1,986,114	
その他利益剰余金合計	1,986,114	
利益剰余金合計	1,986,114	
純資産の部合計		1,986,114
負債及び純資産合計		1,986,114

一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会

2024年4月1日 から 2025年3月31日 まで

	2024年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
会費収入	1,530,000	1,589,500	-59,500	
雑収入	657,000	277,794	379,206	
受取利息	1,367	31	1,336	
経常収益合計	2,188,367	1,867,325	321,042	
(2) 経常費用				
事業費	1,218,003	556,884	661,119	
委託費	0	0	0	
会場費等	1,004,150	416,576	587,574	リアルイベント増による
旅費交通費	0	0	0	
講師謝金	89,096	0	89,096	
その他 諸費用	124,757	140,308	-15,551	
管理費	2,076,253	1,566,315	509,938	
理事報酬	0	0	0	
税理士報酬	55,000	55,000	0	
事務所経費・委託費	660,000	660,000	0	
旅費交通費	173,060	165,540	7,520	
通信費・広告宣伝費	423,276	430,940	-7,664	
会議費・その他 諸費用	764,917	254,835	510,082	企画研究会活動費増 (特別予算計画通り)
経常費用合計	3,294,256	2,123,199	1,171,057	
当期経常増減額	-1,105,889	-255,874	-850,015	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-1,105,889	-255,874	-850,015	
一般正味財産期首残高	3,092,003	3,347,877	-255,874	
一般正味財産期末残高	1,986,114	3,092,003	-1,105,889	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,986,114	3,092,003	-1,105,889	

参考：期末通帳残高記録

照会結果

< 前月末残高 >

2025年 4月2日 08:47:53

|一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会 様
(契約者番号 1012040744)

1枚目／ 1枚中

2025年3月31日 の残高は下記の通りです。(操作日時 : 2025年4月2日 08:47)
(定期・通知は表示されません)

取引店	科目	口座番号	口座名	残高(円)
今池支店	普通	0075198	一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会	1,374,212
今池支店	普通	0115626	一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会	611,902

上記2口座の金額合計(円)	1,986,114
---------------	-----------

当月初から操作日までに新規開設された預金口座であっても残高は0円と表示されております。



第3号報告

令和6年度監査報告

監事 山田眞佐代

監査報告書

「一般社団法人持続可能なモノづくり・人づくり支援協会」定款第 37 条に則って、
2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの事業年度について、下記の要領により
会計監査を実施した結果、決算書、会計帳簿、証拠書類等は、いずれも一般に公正妥当
と認められる会計原則に則って適法かつ正確に処理されており、当法人の財産の状態を正し
く示しているものと認めます。

記

1. 日時 2025 年 4 月 25 日（金）
午後 2 時 00 分から午後 3 時 30 分
2. 場所
一般社団法人「持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（ESD21）」
愛知県名古屋市中区錦 2-15-20 三永伏見ビル 2 階
有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所 名古屋センター内
3. 出席者
石村正雄 理事、山田眞佐代 監事

以上

2024 年 5 月 17 日

一般社団法人「持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（ESD21）」

監事 山田 眞佐代





第 1 号議案

令和 7 年度事業計画案

事務局長 理事 石村正雄

令和7年度事業計画案

● 会員総会、特別企画事業

・ 6月10日(火)「ESD21令和7年度(第16期)会員総会・講演会・懇親会」

- ・ 例会・講演会 「ICTを賢者に学ぶ」シリーズを第3回、4回開催
- ・ 講演会 元トヨタ役員が語る「儲かるTPS」と「儲からないTPS」の分かれ道
- ・ 勉強会型セミナー 「トヨタ原点回帰の管理会計」講師：河田先生、田中先生
- ・ 見学会 トヨタOBとまわる「トヨタ産業記念館」「トヨタ博物館」
- ・ 講演会 外部団体より講師（産総研 ほか）招聘

● テーマ事業 (1) TPS/Lean事業

- ・ 成果発表会 TPSアジャイルプラクティス研究会(USP研究所/SCCC)

● テーマ事業(2) DX関連事業

・ 4月15日(火) & 22日(火)「DX戦略策定プロセス体験ワークショップ」

・ 5月19日(月) DX認定会社工場見学会(第2回)

・ 5月23日(金)ESD21/名城大学共催「AIソリューションシンポジウム」

- ・ DXの実態を社長と語る会 ⇒ DXを進める課題と打破策
- ・ AI アイデアソン（生成AIをメンバーに加えたアイデアソン） 対象20名
- ・ グループワーク 最近生じているシステムトラブル等、リスク管理について
- ・ 勉強会 ホワイトカラーの生産性向上、ビジネスプロセス改革など
生成AIの利便性とセキュリティリスク(特にプロンプトセキュリティ)
- ・ セミナー RAGなどAIの活用法に関して
- ・ ワークショップ ビジネス・リジエンスに関する （経営を支援するAI 等）

● テーマ事業 (3) 国際事業

- ・ 講演会 TPS vs 各国歴史文化（ベトナム、インド、中国他）、外国人材

令和7年度収支予算案

2025/6/5

一般社団法人 持続可能なモノづくり・人づくり支援協会

2025年4月1日 から 2026年3月31日 まで

		2025年度予算	参考: 2024年度実績	差 額 (予算-前年)	備 考
1、事業活動収益	(1) 会費収入	1,800,000	1,530,000	270,000	
	(2) 雑収入	750,000	658,367	91,633	セミナー懇親会費等
事業活動収益 合計		2,550,000	2,188,367	361,633	
2. 事業活動費用	(1) 事業費支出				
	①委託費	-	-	-	
	②会議費(会場費・設備費等)	900,000	1,004,150	-104,150	
	③旅費交通費	-	-	-	一般管理費の旅費交通費で精算
	④講師謝金	90,000	89,096	904	
	⑤その他 諸費用	120,000	124,757	-4,757	
	事業費支出 小計	1,110,000	1,218,003	-108,003	
	(2) 管理費支出				
	①理事報酬	-	-	-	
	②職員給与・税理士報酬	55,000	55,000	-	
	③事務所経費	660,000	660,000	-	事務所費&事務委託費
	④旅費交通費	165,000	173,060	-8,060	
	⑤通信費・広告宣伝費	430,000	423,276	6,724	
	⑥その他 諸費用	260,000	764,917	-504,917	企画研究会終了
	管理費支出 小計	1,570,000	2,076,253	-506,253	
事業活動費用 合計		2,680,000	3,294,256	-614,256	
当期経常増減額		-130,000	-1,105,889		
先期繰越金額		1,986,114	3,092,003		
次期繰越金額		1,856,114	1,986,114		

第2号議案

役員の改選

代表理事 黒岩 恵

第2号議案 役員の改選

■重任理事（任期2年）

黒岩 恵、鈴木明夫、石村正雄、堀田茂雄
山中誠二、佐土井有里、當仲寛哲、鈴木常彦、
吉田信人、田邊正紀、トゥトゥフライング、
木村 徹、弘中史子、山海一剛（以上14名）

■重任監事（任期4年）

山田眞佐代

■新任理事

菅野修一、宮川竜治（以上2名）

■退任理事

大鹿秀正、古畑慶次（以上2名）

◇報告事項：事務局長が堀田理事から石村理事に交代

第3号議案 定款の一部変更案

事務局長 理事 石村正雄

第3号議案 定款の一部変更案ー（1）

①定款第5条の（4）（名誉会員）

- 一名誉会員の定義に「会員規約に従う旨」を明記
- 会員規約の制定・整備：名誉会員の3区分（顧問・賛助・維持）を新設し、会費・手続等を定義

[改正理由]

定款において名誉会員の位置づけを明記し、その詳細区分は柔軟な運用を可能とするため「会員規約」にて定めることとする

[会員規約新設案]（名誉会員の区分および要件）

第3条ー（4）名誉会員は、以下の区分とし、それぞれ理事会の承認を経て選任されるものとする。

1. 顧問名誉会員

次のいずれかに該当し、本法人の発展に顕著な功績があったと理事会が認めた者で会費、議決権なし。

- ① 学識経験者・行政関係者・教育研究機関の者
- ② 退任理事・監事で、その功績が顕著であると認められる者

2. 賛助名誉会員

法人正会員等の支援者で、長期にわたり貢献があった法人の代表者等。会費、議決権なし。

3. 維持名誉会員

本法人の理事または監事を退任した者で、理事会が承認した者

「個人会員」と同等の権利（総会出席・議決権など）を有し所定の年会費負担

第3号議案 定款の一部変更案ー（2）

② 第14条（会員総会招集方法）の改正

1. 招集通知を、従来の書面に加え、電子メール等の電磁的方法でも可能とする。
2. 第14条の2（新設）

会員総会をオンラインで開催し、遠隔地からの出席を可能とする旨を新設。

③第15条の2～4（新設）会員の議決権行使について規定を追加

- － 他の会員への代理行使
- － 書面・電磁的方法による行使
- － これらの方法での行使を出席とみなす。

④第30条の次に新設：第30条の2（理事会のオンライン開催）

理事会もオンラインで開催できることを明記。

【改正理由】

情報通信技術の進展に対応し、会員および理事の利便性を高めるとともに、業務の効率化および柔軟な法人運営を可能とするため。



一般社団法人

持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）

ESD21会員総会 閉 会

ありがとうございました。

（閉会予定：14:30）